

<p>【イベント名】 神戸大学とセントルークス医療センターのテレカンファレンス</p>	<p>【概要】 昨年より神戸大学から内視鏡指導の目的として常勤医の海外派遣が始まり、その一環として神戸大学とマニラのセントルークス医療センターとのテレカンファレンスによる症例検討を行った。神戸大学から早期大腸癌、仮性膵嚢胞の症例、セントルークス側からは、早期十二指腸癌の症例提示があり、治療法に対する活発な議論ができた。セントルークス側は外科医にも参加してもらい安全な治療に向けて外科医側の意見も聞くことができた。</p>
<p>【期日】 2017.01.17</p>	
<p>【会場】 神戸大学（日本）、 セントルークス医療センター グローバルシティ(フィリピン)、 九州大学大学院（日本）</p>	

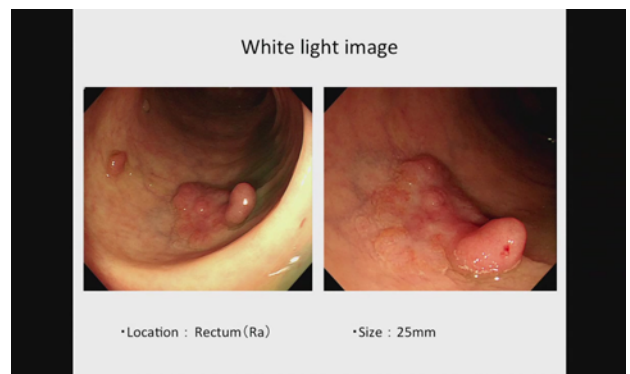
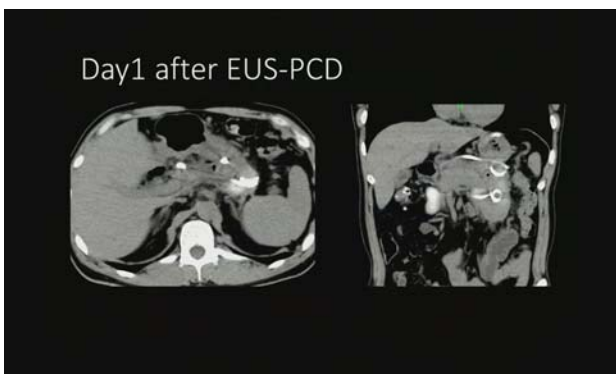


神戸大学での会場の様子。

セントルークス医療センターでの会場の様子。

撮影場所：九州大学病院

撮影場所：セントルークス医療センター



提示されたCT画像。

提示された内視鏡画像。

撮影場所：九州大学病院

撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される3地点。

器具を用いた手術の説明。

撮影場所：九州大学病院

撮影場所：九州大学病院